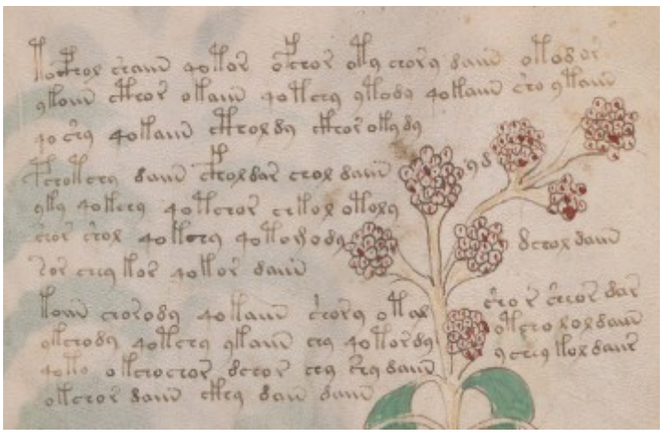
Beinecke MS 408　37r-01　(voynich manuscript)　2024-10-03　改定



fdapadaum baand nadafdar dagaadar dafb aadarb sand dafdasdar
良い奥地の家は連帯して、豊かでない農地を隅の農地とした。
争いでも幾らか残り、国土は豊かな出入の農地になった。

bfdand fadar daqand nadafaab bfdasb nadaqand bada bfand
古くて悪い遠い農地が成立し、永くはないがブフダ国は**奴連合**で、傍の人々が支えだった。

nada bab nadaqand fadaumsb qadar daqb sb
小さく無い領土を奴連合はフアダウム国とし、水の農地はダクブ国(支配した国)だった。

paadafaab sand gadaum sar aadaum sand bs
交易が長期の国土は、外の家のボスが幾らかの家の国土を決定した。

bqb nadaqaab nadafaadar aaqdaum dafdaumb
育った無自立的で長期ではない農地を、活発な家として豊かな国民とした。

badar badaum nadaqaab nadafdazidasb saadaum　sand
農地毎に家毎に自立的で無く、豊かでないダジダ国は様々な家の国土だった。

kadar aatb qdar nadaqdar sand
後に農地に人が増えて、狭い農地は自立の無い農地の国土となった。

qdand aadardasb nadaqand badarb dafaum badar batdar sar
少し悪い幾らかの農地のダ国は**奴連合**の傍に置かれて、豊かな希望があった。
農地毎だが多くの農地にはボスがいた。

bqaadasb nadafaab bqand aab nadafdarsb dafaadaum daumsand
ブクアアダ国は長期ではなく古いままが全てだった。
ナダフダラ国は長期の家が次々とできた国土だった。

nadafda daqaadaaadar saadar aab bab sand baatb qdaum sanr
豊かでなく小さく古いままの支配の農地は様々な農地だった。
全ての領土が国土であり、纏めた国の小さい家は集めた資産となった。

daqaadar sand qab said sand
自立的な農地の国土から人が離れ、長老の国土となった。

Beinecke MS 408　37r-02

(別訳)
１０年ほど前に以下の様に訳しました。下の訳には誤りが沢山ありますが、そのままにしています。

フダパダウム(花名)は帯状になり、豊かで無い土地や隅の土地では、
競い合い幾らか残る。土は豊かなものを混ぜて土地とする。

新しいもの(土)は悪く遠い所で出来た不十分な古いものを使う。
生育が悪いのは決まって新しいものである。

小さく無い桶では成り立たない。
良い家の手入れは湿地を占有して手入れする。

風通しの十分な土の庭では、蕾が所有地の土を決める。

育つと暗くなくなり、不十分な土地でも、
若い固まりは湿っぽく変化する。

成長すると何か月か自立せず、豊かで無い様に成長し、
幾らかの固まりは土である。

完全に加わると自然に暗くない土地の土になる。

少し悪いのは空地で成長した未成熟の周囲が悪いものである。
豊かな芽は成長すると豊かな土地では蕾になる。

後からの成長は不十分で、新しいだけである。
豊かで無い土地の国では、十分な家の家の土を使う。

湿っていない暗い空き地の幾らかの土地は全て桶の土となり、
枠組み(桶)は小屋で日光に当てる。

専用地の土は振るった、古い土を使う。